



日経 NIKKEI
SDGs
FESTIVAL
OTEMACHI
MARJINOUCHI
YURAKUCHO
AUTUMN

サステナブル・ファイナンスセミナー

持続可能な社会の実現 ～日本市場の課題と展望～

P R O G R A M

日時 2020年 9月2日(水) 10:00-12:00

主催/日本経済新聞社 協賛/野村ホールディングス 特別協力/三菱地所

※講演者・講演内容・タイムスケジュールは事前の予告なく変更となる場合がございます。あらかじめご了承ください。

10:00-10:30

基調講演

テーマ「金融行政とサステナブルファイナンス」



池田 賢志氏 金融庁 チーフ・サステナブルファイナンス・オフィサー

2019年3月、金融庁に「チーフ・サステナブルファイナンス・オフィサー」のポストが新設されたことに伴い同職に就任。同職においては、気候変動関連の財務情報開示に係るTCFD提言の日本における実施を担当すると

同時に、金融庁内のSDGs取組戦略プロジェクトチームの事務局を務めるなど、サステナブルファイナンスに関する職務を幅広く所掌。

10:30-10:50

企業講演

テーマ「サステナブルな金融市場の実現に向けた野村グループの取り組み」



後藤 匡洋氏 野村証券 取締役専務/野村ホールディングス 執行役員 インベストメント・バンキング グローバル・ヘッド

1990年一橋大学商学部卒業後、野村証券入社。2009年企業情報部マネージング・ディレクター兼企業情報四課長、10年欧州・中東・アフリカ・インベストメントバンキング部門共同部門長、13年コーポレート・ファイ

ナンス七部長、15年執行役員 インベストメント・バンキング担当、19年4月常務 インベストメント・バンキング担当、20年4月より現職。

10:50-11:00

企業講演

テーマ「サステナブルファイナンスの新潮流」



江夏 あかね氏 野村資本市場研究所 野村サステナビリティ研究センター長

オックスフォード大学経営大学院修了、博士（経済学、埼玉大学）。ゴールドマンサックス証券、日興シティグループ証券などを経て、2012年に野村資本市場研究所に入社。19年より現職（研究分野は国家・地方財政、

信用分析・格付、ESG）。政府、地方公共団体等の委員を歴任。著書に『地方債投資ハンドブック』（単著）、『サステナブルファイナンスの時代— ESG/SDGsと債券市場』（共著）等がある。

11:00-12:00

パネルディスカッション

テーマ「トランジションファイナンス —低炭素社会へのロードマップ」

●パネリスト



梶川 文博氏 経済産業省 産業技術環境局 環境経済室長

2002年、経済産業省に入省。中小企業金融、IT政策、デザイン政策、経済成長戦略の策定、産業競争力強化のための人材育成・雇用政策、省内の人事企画・組織開発、

ヘルスケア産業育成、マクロ経済の調査分析等を経て、現職。一般社団法人FCAJの理事も兼務。



相原 和之氏 野村証券 デット・キャピタル・マーケット部 ESG債担当部長

1986年、野村証券に入社。88年より引受業務に携わり、東京、大阪、名古屋、海外拠点において事業会社、金融機関等の資本市場における資金調達をサポート。2017

年10月より現職。公益社団法人日本証券アナリスト協会検定会員。



今村 敏之氏 野村アセットマネジメント 責任投資調査部長

慶應義塾大学卒。1994年野村アセットマネジメント入社。主に国内の公的年金基金向けの日本株式、外国株式運用を経て、2003年よりニューヨークにて運用調査業務に従事。06年に東京に戻り、投資信託の分析評価

業務を行うグループ会社において、外国株式ファンドの分析を中心に担当、08年12月より同社ロンドン支店長。13年4月に野村アセットマネジメントに戻り運用企画部長。16年4月より現職。



金留 正人氏 DNV GL ビジネス・アシュアランス・ジャパン サステナビリティサービスグループ

第三者機関としてグリーンボンドをはじめとする様々なサステナブルファイナンスの外部評価支援を実施。これまで、気候ボンドイニシアチブの認定検証機関として検証レポート提供や、環境省のグリーンボンド等発行支援

者(外部レビュー部門)としてオピニオンを提供。エネルギーや水分野の環境関連技術、社会貢献プロジェクト評価の専門性を活かし、新しいサステナブル・サービスの開発と支援を実施。

●モデレーター



三井 千絵氏 野村総合研究所 上級研究員

東京理科大学理学研究科物理学専攻修士課程修了。時事通信社を経て、2008年より野村総合研究所。専門は企業開示情報とそれに関する制度、IFRS、コーポレートガバナンスなど。14年よりIFRS財団の電子開示に関する諮問

グループITCGのメンバーとなる。ここ数年は英国・EUの開示制度や環境投資、ガバナンスコード等の動向やその影響の研究、IFRSの開示とデータ利用の課題について情報発信している。